

## 令和6年度第3回京丹後市韓哲・まちづくり夢基金運用委員会 会議録

- 1 開催日時 令和7年1月27日（月）10時00分～12時30分
- 2 開催場所 京丹後市役所（2階）201会議室
- 3 出席者氏名
  - (1) 京丹後市韓哲・まちづくり夢基金運用委員会委員（6名中5名出席）

出席：行待佳平 委員長、今井みどり 副委員長、田中匡代 委員、川口勝彦 委員、  
吉野有香 委員

欠席：小谷順一 委員
  - (2) 事務局、関係部局

引野雅文 市長公室長  
北尻光 市長公室政策企画課係長  
青木滉人 市長公室政策企画課主事  
西村隆 教育委員会事務局教育総務課長  
上羽正行 教育委員会事務局学校教育課長  
松本優 教育委員会事務局生涯学習課長  
下戸裕子 教育委員会事務局生涯学習課スポーツ推進室長
- 4 議事等
  - (1) 委員長あいさつ
  - (2) 議事
    - ア 基金運用益等の状況について
    - イ 令和6年度基金運用益等活用事業の実施状況（中間報告）について
      - ・グローバル人材育成事業
      - ・遠隔教育実施事業
      - ・韓哲・まちづくり夢基金事業補助金
      - ・SDGs推進事業
      - ・高等学校全国募集入学生応援事業
      - ・大学等受験料支援事業
      - ・第4回京丹後市民陸上記録会
      - ・京丹後市文化芸術振興計画及び文化庁移転に伴う文化芸術推進事業
    - ウ 令和7年度基金運用益等活用事業（案）について
      - ・グローバル人材育成事業
      - ・プログラミング教育推進事業
      - ・いじめ・不登校防止対策等総合推進事業
      - ・韓哲・まちづくり夢基金事業補助金
      - ・SDGs推進事業
      - ・高等学校全国募集入学生応援事業

- ・ 大学等受験料支援事業
- ・ 第5回京丹後市民陸上記録会
- ・ 国際大会・全国大会出場者への激励金
- ・ 京丹後市文化芸術振興計画及び文化庁移転に伴う文化芸術推進事業
- ・ 地域公民館管理運営事業
- ・ 図書館管理運営事業
- ・ 社会体育団体育成事業
- ・ 青少年教育事業

(3) その他

韓哲・まちづくり夢基金事業補助金の運用について

(4) 副委員長あいさつ

5 公開又は非公開の別 公開

6 傍聴人の人数 0人

7 要旨

《議事経緯》

(1) 委員長あいさつ

本日は今年度の事業報告や来年度の事業案等をご審議いただくので、よろしくお願ひしたい。先日、初釜で広島へ行ってきた。初めて岸田首相がサミットを開催した際のお茶の家元があるところを訪問した。初釜を通して、色々な文化や歴史を感じることができた。

そのほか、先日は寺の役員で改修作業をすることがあったが、寺が文化財に指定されていて、改修が難しいほか、多額の費用がかかることが分かった。文化を守っていくことの難しさと市民の目が届くような形にするべきだと感じた。

この韓哲基金も文化芸術が対象になっているが、まだ申請が少ないように感じる。改めて文化芸術は力を入れて守っていくべきであると感じている。本日も様々な議題があるが、よろしくお願ひしたい。

(2) 議事

ア 基金運用益等の状況について **資料1**

(説明) 資料に基づき、事務局から説明。

(質疑応答) なし

イ 令和6年度基金運用益等活用事業の実施状況(中間報告)について **資料2**

ウ 令和7年度基金運用益等活用事業(案)について **資料3**

(説明) 資料に基づき、各担当課から令和6年度事業の中間報告と令和7年度事業の提案。

(質疑応答) 各事業に関する質疑応答は下記のとおり。

【グローバル人材育成事業】資料2 資料3

(委員) 中学生の海外派遣について、2年生が対象で毎年派遣されているが、取組を通じて学校内で繋がりができているか。

(学校教育課) 生徒間の交流はあると思う。また市としても派遣された生徒には、自分たちが学んだこと、体験したことを学校に還元していただきたいと思っている。「Sea Labo」に参加した経験を、「English Day」や「English Camp」など、自らが高校生になったときに後輩たちに教えたり、手助けしたりすることを想定しており、例えば今年度の「オンライン留学」では、高校生10名の参加あった。今後も好循環が生まれるような取組を考えていきたい。

(委員) グローバル人材を育成するということで、英語教育の観点で具体的な目標設定はされているか。例えば、英検や TOEIC で何級取得を目指す等の目標設定はあるか。

(学校教育課) 英検や TOEIC での目標設定は行っていないが検討したい。現在は文部科学省で実施されている全国学力調査で全国平均を必ず達成することを目標に設定している。また、全生徒の英語力向上を図るために英語力向上アプリを導入している。グローバル人材育成事業を体験した生徒が高校生になっているが、高校からは取組みの成果が出ていると評価していただいている。そのほか、先日実施された共通テストでも、英語で190点以上の点数をとったという報告もあり、事業を通じて英語力の向上を実感している。

【遠隔教育実施事業（プログラミング教育推進事業）】資料2 資料3

(委員) 今年度は機器トラブル等があったという課題があがっているが、この対策は考えておられるか。

(学校教育課) 今年度は初めての実施ということで、機器トラブルがあった。対策としてICT支援員を授業に常駐させてトラブルに対処した。現在、機器トラブルについては一定把握できており、解消されつつある。来年度は機器の更新もあるため、引き続きICT支援員を現場に常駐させ、対応していく予定。

(委員) 技術科教員が配置されていない学校があるということだが、どちらの学校か。

(学校教育課) 丹後中学校、弥栄中学校、久美浜中学校の3校。技術科免許を取得している教員が配置されていない学校において、この事業を活用してもらうことが目的。ただ、専門の教員が現場で指導することが本来目指す姿であると考えているため、府の教育委員会には専門教員の配置を依頼しているところ。

【いじめ不登校防止対策等総合推進事業】資料3

(委員) アプリを活用することで、いじめ発生件数が減少したという事例はあるか。

(学校教育課) 統計的な結果が出てくるまでには、もう少し時間を要するが、ここまでに1,000件もの相談があったことから、これまで埋もれていた生徒の声を拾うことはできていると実感している。

(委員) 子どもは声を上げて反応が遅いと段々と相談もしなくなる。カウンセラ

一には可能な限り早急にご対応いただきたい。

(学校教育課) 承知した。

(委員) どのような声が多いのかをデータとして集計できると地域としても参考になる。

(学校教育課) 随時、集計しているところ。必要に応じて公開もさせていただく。

**【韓哲・まちづくり夢基金事業補助金】** **資料2** **資料3**

質疑等なし

**【SDGs推進事業】** **資料2** **資料3**

(委員) 実施する学校はどのように決めているのか。

(政策企画課) 公募を行い、希望があった学校で実施している。

(委員) ワークショップは1回で完結するものか。

(政策企画課) 昨年度は丹後緑風高校網野学舎、今年度は丹後緑風高校久美浜学舎で実施する。事業開始当初は特定の学校だけでなく、中高生に広く公募し、イベント形式で実施していた経過もある。この事業は若者がSDGsの視点で社会課題解決に取り組むという事業である。当日のみならず、例えば出たアイデアを都市部の事業者提案するなど、その後のアフターフォローも含めて委託している。

**【高等学校全国募集入学生応援事業】** **資料2** **資料3**

(委員) 支援内容で下宿等の賃貸料が2種類あるが、どのような意図か。

(教育総務課) 途中で退学された方がいたため、年度途中まで支給している。

**【大学等受験料支援事業】** **資料2** **資料3**

(委員) 令和6年度から令和7年度で、支援対象者が5人から25人に増えているのはなぜか。

(教育総務課) 令和6年度から始めた事業であり、令和6年度は5人分の予算を上げていた。令和7年度からはさらに周知をさせていただき、対象者を増やして取り組みたい。

**【京丹後市民陸上記録会】** **資料2** **資料3**

(委員) 車椅子競技について、健常者であっても出場できるとはどのような意図があるのか。また出場意欲のある方はどの程度おられるか把握しているか。

(生涯学習課) 障がいの有無に関わらず競技に出場することは可能。

(委員) 自由な形式の大会であれば良いが、公認の大会で健常者の方も出場可能というのは違うと感ずるため、検討いただきたい。

(生涯学習課) 役員とも協議しながら検討していく。

(委員) 車椅子競技人口は本市ではどの程度あるのか。

(生涯学習課) 把握できていないため、調査する。

【国際大会・全国大会出場者への激励金】資料3

質疑等なし

【京丹後市文化芸術振興計画及び文化庁移転に伴う文化芸術推進事業】資料2 資料3

質疑等なし

【地域公民館管理運営事業】資料3

(委員) 対象年齢が広がったり、Zoomで受講できたりすることは良いことだと思う。現在、受講されている方のフォローもしっかりと行ってもらいたい。

【図書館管理運営事業】資料3

(委員) マイナンバーカードを持っていない人は図書館を利用できなくなるのか。現在の図書カードを廃止することになるのか。

(生涯学習課) 当面は図書カードも交付し、マイナンバーカードとの併用を予定している。

(委員) 11月からの運用と記載されているが間に合うのか。

(生涯学習課) 4月から早急に取り組んでいきたい。

(委員) 図書館利用者は、高齢者や子供も多く、どの年代の人でも利用しやすい環境づくりをしていただきたい。

(生涯学習課) 丁寧に周知して、誰もが利用しやすい環境づくりを検討していきたい。

(3) その他 資料4

(説明) 資料に基づき、事務局から説明。

(質疑応答)

(委員) 年限は設けるべきだと思う。ただ3年となると実現が難しい事業もあると思うため、5年にしてはどうか。

(委員) 長期的な事業になるように申請者の事業計画作成を事務局でサポートしてほしい。

(事務局) 本日の議論も含めて、来年度引き続き検討していきたい。

(委員) 市の基金事業が拡充されているように思うがなぜか。

(事務局) これまでよりも拡充した提案になっている。提案にあたっては、事務局側で事前に担当課ともすり合わせを行い提案するかを判断している。また、基金の目的である各分野に沿ったものであるか、子供たちの夢を応援するものであるか等を加味して判断している。図書館管理運営事業についても、教育や文化の向上につながる事業として提案させていただいた。

(4) 副委員長あいさつ

長時間にわたりご議論いただき感謝申し上げます。初めに委員に就任した時よりも市民に補助金の存在が周知され、申請数も多くなっていることは良いこと

だと思ふ。一方で委員としての責任が重くなっていると感じている。韓会長の「京丹後市のために」「子どもたちの明るい未来のために」という想いを汲み取って、我々も取り組んでいきたい。